

研究種目：基盤研究（C）

研究期間： 2007～2010

課題番号：19592585

研究課題名（和文）

中山間地域の里山における女性高齢者の健康資源開発に関する研究

研究課題名（英文）

Satoyama as a resource for health promotion of elderly women living in mountain villages.

研究代表者

深山 智代 (MIYAMA TOMOYO)

長野県看護大学・看護学部・学長

研究者番号：70060746

研究代表者の専門分野：地域看護学

科研費の分科・細目：看護学（地域・老年看護学）

キーワード：看護学, 健康資源開発, 里山, 国土保全, 女性高齢者

### 1. 研究計画の概要

遊休農地を利用した女性高齢者のグループ農業の実態を調査することにより、里山の健康資源としての効果的な利用のための具体的な諸条件を明らかにするとともに、実践事例を通して費用対効果や運動生理学的側面からも学際的な検討を加える。

### 2. 研究の進捗状況

長野県の中山間地域の立地条件の異なるA地区とB地区で、グループ農業を行なっている人々の活動の実態とその背景を参加観察とインタビューにより調査し、次のことが明らかになった。

(1) A・B両地区とも、次のように、近隣付き合いの一環のような形で、無理のない範囲で楽しみながら活動を行っていた。①殆どのメンバーが自家の農業を担いつつグループ農業に参加し、各自の都合と体力に応じて当番制で作業を分担する。②作物は比較的手間のかからない大豆と雑穀が中心である。③ネットワークを活用して援助を得る。④活動を誇りに思っている。⑤農業活動の他にもグループ活動を行う。⑥リーダーが存在し、メンバー間や対外的な調整を行う。

(2) 僻地にあるA地区では、グループは、次のように農作業以外の多様な活動を行い、それらの背景や影響は地区全体のコミュニティの統合性や象徴的側面と多面的に関連していることが明らかになった。①グループ農業の活動は女性高齢者が中心であるが、力仕事には男性も協力する。②利用する農地は重要な史跡に近く、グループ農業は村落を挙げての活動という性格を帯びる。③作物は特産の大豆や土地に適したコキビ、カボチャ等

で、道路の近くには村人や観光客の目を楽しませる花を植えている。④農作業に関しては、年長者がより多くの知識をもち、指導的な役割を果たすとともに、積極的に作業を行なう傾向が見られる。⑤村内の小学生が授業の一環として農作業に参加する。⑥グループ主催の収穫祭は世代間の交流や伝統の継承の場として機能している。

(3) 主要国道に近いB地区では、グループ活動は楽しみ以外に経済活動の側面を伴っていた。具体的には、次のような特徴がみられた。①耕地面積が広く、分散している。②有料の農業機械を借上げ、収穫で収益を得ている。③収穫物やその加工品、売上金等を活動実績に応じて分配する。④グループはコミュニティの祭礼の必要から発足したが、農作業はコミュニティの活動としての性格は示さない。

### 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

主目的である、里山の健康資源としての効果的な利用のための具体的な諸条件を明らかにするためのデータは、十分に得られており、すでに暫定的な分析結果をまとめて学会や論文に発表している。ただし、費用対効果や運動生理学的側面については、単純な評価はできず、再検討が必要になっている。

### 4. 今後の研究の推進方策

これまでに収集した資料を整理・分析するとともに、その過程で必要になる情報の確認や、追加資料の収集を随時実施する。

A地区では、活動の中心となってきたメンバーの何人かが高齢や病気により十分活動

できなくなってきたおり、この問題に対するグループおよびコミュニティの動きを注意深く観察する。

また、費用対効果や運動生理学的側面については、これまでの結果に基づいて、評価の視点と方法を検討しなおす。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

深山智代, 多賀谷昭, 北山秋雄, 那須裕, 野坂俊弥: 里山の環境を保全し健康資源として利用するための諸条件—高齢期の女性有志による里山の遊休農地を利用したグループ農業活動事例の調査から. 長野県看護大学紀要, 12: 1-7, 2010.

〔学会発表〕(計2件)

多賀谷昭, 深山智代, 北山秋雄, 那須裕, 野坂俊弥: 里山の健康資源開発としての遊休農地を利用したグループ農業. 第3回信州公衆衛生学会, 2008. 8. 30, 駒ヶ根市.

多賀谷昭, 深山智代, 北山秋雄, 那須裕, 野坂俊弥: 里山における高齢女性の健康資源開発—遊休農地を利用した農業への参加と健康—. 平成19年度長野県看護大学研究集会, 2008. 3. 14, 駒ヶ根市.